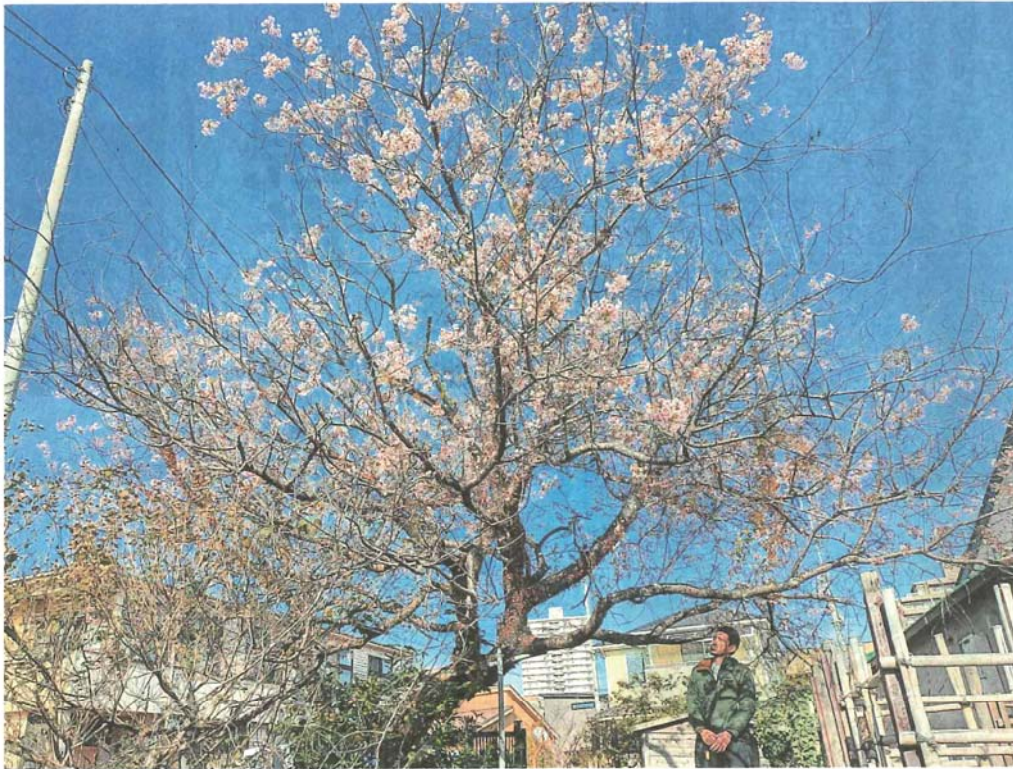


令和7年(2025年)12月11日 (木曜日)

美しい花を咲かせるヒマラヤ桜＝三島市南本町



ヒマラヤ桜見頃

三島
梅花藻の里

ピンクの花

共演、楽しんで

三島市南本町の三島梅花藻の里で、ヒマラヤ桜のピンクの花が訪れる人を楽しませている。

例年、11月下旬から12月初旬に開花する。今年は例年並みの開花スピードで、10日現在で七分咲きほど。同所を維持・管理するグラウンドワーク(GW)三島によると、天候によるが12月下旬まで楽しめそうという。GW三島担当者は「この時期になかなか見ることができない桜の花と、

ミシマバイカモの共演を楽しんでほしい」と話した。

1967年にネパールのブレンドラ皇太子(当時)が熱海市を訪れた際、地元団体が桜と梅の種子を献上し、その返礼として種子が贈られた。梅花藻の里のヒマラヤ桜は約50年前、熱海高で育ったものから枝分けされた。